

き り ゅ う 2021年(令和3年)12月1日(水曜日) 桐生つねあき事務所 発行

# 桐生つねあき

## 鈴鹿市議会議員

### 鈴鹿市議会レポート Volume 2

平成生まれの  
挑戦!!



#### 経歴

平成28年4月 衆議院議員島田佳和事務所 入所  
平成29年9月 自由民主党鈴鹿市第二支部 入所  
平成31年4月 鈴鹿市議会議員 初当選

令和1年5月 自由民主党 鈴鹿市議団所属  
地域福祉委員会 副委員長 就任  
令和2年5月 総務委員会 副委員長 就任  
令和3年5月 監査委員 就任

自由民主党  
鈴鹿市議団Webサイト  
所属団体での報告を日々更新中です。



桐生つねあき  
市議会議員Webサイト  
活動内容などを掲載しております。



## 令和3年度 鈴鹿市 監査委員に 就任しました



監査委員は、地方自治法に基づいて設置された機関として、市長の指揮監督を受けずに、独立した立場で公平・公正な監査を行います。

令和3年5月18日より、議会の同意を得て、市長より監査委員に選任されました。1期目にしてこのような大役を与えていただいた皆さまに感謝すると共に、精一杯職務に取り組んでまいります。

### 活動内容について



#### 街頭演説

衆議院議員選挙等での党活動では、地元を中心にお訴えをさせて頂きました。



#### 白子港流木撤去

8月から9月にかけて相次いだ白子港への流木の漂着。地元自治会や漁協の方々とともに、市管轄の港内の流木撤去をお願いさせていただきました。

#### 白子駅前商店街

今まで商店街の街路灯が故障などで暗かったため、商店街組合の皆さまからご要望いただき「商店街共同施設補助金」をご提案。LED化により明るくなりました。



#### 地元での活動

清掃活動を行いました。



地元の方々と共に交差点改良の要望を行いました。



## 鈴鹿市沿岸地域の防災に関して

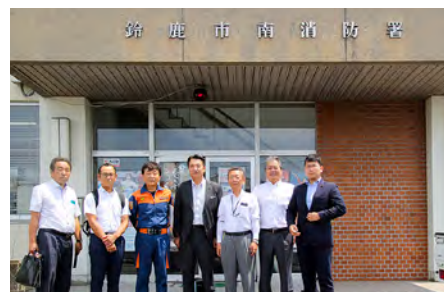
**Q** 沿岸地域では、白子サンズの建て替えに伴って、一時的に津波避難ビルの減少が生じる。また、白子地区に関しては、消防分団車庫や南消防署も老朽化が著しく進んでいる。避難場所への避難も困難を極めるこれらの地域で、今後の対応を教えてください。

**A** 津波避難ビルの減少に関して（白子サンズの建て替え）

補助事業によって民間施設へ、津波避難ビルへの指定拡大を図っています。白子サンズに関しても、市として施設の建て替え計画を確認しながら建設後に再度、津波避難ビルに指定していただくように協力を求めています。

**A** 白子分団車庫、南消防署の老朽化に関して

白子分団車庫は建築から49年が経過し、老朽化が進んでおり耐震性も低い状態です。分団員の意向により現在の場所での建て替えを強く望んでいるため、消防本部としても現在の場所での建て替えの検討を進めていく。南消防署は他の公共施設とは異なり24時間フル稼働しており、老朽化が顕著となっているため建て替えが必要と認識している。令和10年度の長寿命化改修により、機能面の拡充も図っていく。



▲ 鈴鹿市南消防署視察を行いました。

## 白江集合保留地について

**Q** 白子地区の沿岸部に住んでいる方々の多くは、津波の際は主に白子中学校まで避難しなければなりません。沿岸と白子中学校との間に、浸水区域外に広大な土地があるという事で、これを防災という観点で活用しない手は無いというふうに思います。この点もあわせて、保留地の利用に関して津波避難など、特に防災という観点からお答えをお願いします。

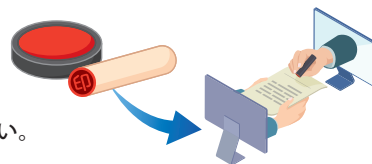
**A** 白江集合保留地は当該地区の区画整理事業において、交通とにぎわいを図るための公共施設用地として確保された約2万平方メートルの土地になります。当該保留地の活用につきましては、福祉関連施設を中心とした複合施設とする施設整備の方向性のもと、まちづくりの拠点施設などさまざまな可能性も含め、検討を重ねているところでございます。当該保留地は国道23号の西側にあり、沿岸部の近くに位置しておりますが、津波浸水予測区域外でありますことから、複合施設についての構想を検討する中、津波の際の避難場所としての必要性についても、あわせて検討してまいりたいと考えておりますので、御理解いただきますようよろしくお願いいたします。



## 押印の廃止に関して

**Q** 国でも押印の見直しが進んでいるが、鈴鹿市としては押印を求める基準が明確になっているのか、押印の必要な書類の洗い出しに関して伺いたい。また、デジタル化、行政手続きのオンライン化の展望に関しても伺いたい。

**A** 押印の見直しについては社会情勢も踏まえ、手続きの簡略化・市民の皆さまの利便性向上を図るために進めてまいりたい。また、押印の見直しと合わせて、マイナンバーカードの普及促進などを通じ、市民の皆さまが行政手続きのオンライン化によるメリットを享受できるようにも努めてまいります。



# 令和3年3月30日 鈴鹿亀山広域連合議会

鈴鹿市及び亀山市をその構成団体とし、介護保険事業と消費者行政及び両市との連絡調整を業務とする、地方公共団体の組合です。

## 地域包括支援センター機能強化について

**Q** 行政・各地域包括支援センターが「地域包括支援センターシステム」のような形で情報の共有化できれば、広域連合や基幹型・地域型地域包括支援センターとシステムでつないで、月報などの提出書類の作成・提出に対する作業量が減ることから地域や担当利用者への対応に、より多くの時間を使うことができるようになります。また、対応困難ケースについての基幹型・広域への相談について、情報共有の仕組みがあれば、地域型が基幹型包括や広域連合に来訪しなくても、スムーズにできるようにもなります。しかも、情報を目にしながらの情報共有ができるため、意思疎通が一段と早くなり、対応もスピーディにおこなえます。このような事も含め、機能強化には「クラウドコンピューティング化」の整備が必須であるがいかがでしょうか。

**A** 現在、広域連合と地域包括支援センターとの間で、USBメモリでやり取りしているが、個人情報以外のやり取りについては今後、月報の報告をクラウドに変更することでの事務軽減化や、チャット等、コンピューターネットワーク上のデータ通信回線を利用した、リアルタイムコミュニケーションの使用による情報伝達方法についても検討していく。

